

至誠館大学

科目名	社会的養護内容			コード			
英語表記	Content of Social Care						
担当教員名	山口 季音			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式		履修形態	選択		
<p>本授業では、社会的養護についての基礎知識を学び、演習を通して受講生が社会的養護における保育士の役割や実践を具体的にイメージできるようになることを目的とする。とくに事例分析を通して、保育士に必要な知識、技術や支援のあり方を習得することを目指す。</p>							
到達目標							
①社会的養護の基礎知識を習得する。②社会的養護における保育士の役割を理解する。③社会的養護における支援のあり方を理解する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション —授業の進め方について—						
第2回	社会的養護の理論						
第3回	社会的養護における保育士の役割・倫理・責務						
第4回	保育士の専門性と社会的養護						
第5回	社会的養護を要する子どもの理解と権利						
第6回	里親制度の現状と課題						
第7回	施設養護のプロセス① アドミッションケア・インケア・リービングケア						
第8回	施設養護のプロセス② アフターケア・家庭支援						
第9回	ケーススタディ① 個別支援計画の作成						
第10回	ケーススタディ② 日常生活支援と治療支援						
第11回	ケーススタディ③ 就労支援と家庭支援						
第12回	社会的養護の実践における記録と評価						
第13回	施設の小規模化と家庭的養護の実際						
第14回	社会的養護系職員の専門性とソーシャルワーク						
第15回	まとめ 社会的養護の展望						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、授業内課題およびレポートで評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	50		20
授業外学習			テキスト、教材				
授業中に配布した資料や講義の内容を復習することが望ましい。			なし。適宜資料を配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
橋本好市・原田旬哉編『演習・保育と社会的養護内容(シリーズ保育と現代社会)』みらい、2014年			本授業は保育士資格の必修科目です。				
キーワード							
社会的養護・ケーススタディ・支援計画							